

平成24年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		公益財団法人 武蔵野文化事業団						
① 事業	指標名	芸術文化の振興（自主チケット販売の充実）			目標値	芸術文化の振興を図るため自主事業チケットを完売する	実績値	発売チケット124本のうち6本に売れ残りが生じた
	過去の実績	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成率	95.2%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)	発売チケット115本のうち3本に売れ残りが生じた	発売チケット111本のうち2本に売れ残りが生じた	発売チケット106本のうち5本に売れ残りが生じた				
	取組内容	※24年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市民が優れた音楽等を格安な価格で鑑賞出来るよう独自招聘事業の充実を図りつつ引き続き実施する。 ②自主事業ニーズを把握するため事業開催ごとのアンケート調査を実施し、事業企画に生かして行く。 ③アルテ友の会の会員増に努める。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 完売でなかった公演は、バーデン市劇場「トスカ」、プラハ国立歌劇場「フィガロの結婚」、結城座古典劇場と、残席が端数で良席でないための、寄席・ヴァイオリン2本の公演である。質の高い芸術文化を低廉な料金で市民に提供する本事業団の目的から、オペラ、古典も必要と考えている。売れ行きによる財政面での影響を考え、オペラでは共催公演にすることなどを行っている。広報等に努め今後も完売を目標とするが、結果としての未達成はやむを得ない。						
二次評価	チケット販売については、今後の努力に期待する。またアルテ友の会の会員増のための検討を進めること。							
② 財務	指標名	事業団予算の抑制（事業支出の抑制）			目標値	支出額（事業支出）を前年度並とする。	実績値	支出予算は、7.6%増加
	過去の実績	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成率	0.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)	収入額 1,012,505 内補助金 770,967 支出額 962,505	収入額 962,330 内補助金 763,272 支出額 912,330	収入額947,790 内補助金 770,489 支出額897,790				
	取組内容	※24年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①事業収入の増を図るため、独自招聘事業及び他の文化施設とネットワーク事業を引き続き実施する。 ②支出については、委託等の競争入札の実施など引き続き効率的な執行により支出減に努める。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 支出増は、68,588千円であるが、事業収入で11,508千円の増がある。第7回武蔵野市国際オルガンコンクールの開催に伴い、負担金が11,000千円、公益法人会計の関係でリース会計への対応で20,110千円、オルガンコンクール関連コンサートや自主事業の増加による委託料で26,054千円の増があるなどにより抑制は達成できなかった。 文化施設管理運営事業費では、前年比2,068千円減少している。						
二次評価	市において行っている財政援助出資団体の在り方検討の議論も踏まえながら、引き続き経費削減に努力されたい。							
③ 内部 管理	指標名	人材育成のための職員採用制度の検討			目標値	法人の設置目標達成のための人事制度の検討	実績値	内部登用試験の実施
	過去の実績	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)	—	—	—				
	取組内容	※24年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①他団体の人事制度の研究 ②制度の具体的設計						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 固有職員への勤務評定制度、嘱託職員に対する内部登用制度などを試行するとともに、他団体の取組みを検討している。 採用試験では、平成24年度は固有職員採用試験に際し、内部登用試験を実施した。3名の受験者があり、1名を固有職員に採用した。 嘱託職員としての経験が、固有職員として実践力に活かせる有用であった。						
二次評価	内部登用試験が実施できたことを評価する。今後も財政援助出資団体の在り方検討の議論を踏まえ、体制の整備を行うこと。							